

# 記入例

様式第 20 の 2 ( 第 48 条の 3 関係 )

## 実 務 経 験 証 明 書

氏 名	消防 次郎 ( 〇〇年 〇月 〇日生 )			
取り扱った危険物	類 別	第 4 類	品 名	第 1 石油類 ( ガソリン ) 第 2 石油類 ( 灯油 ・ 軽油 )
取り扱った期間	〇〇年 〇月 〇日 から 〇〇年 〇月 〇日まで ( 〇年 〇月 )			
製造所等の別 ( 該当するものを で囲むこと )	製造所 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">貯蔵所</span> ・ 取扱所			
上記のとおり相違ないことを証明します。				
証明年月日		〇年 〇月 〇日		
事業所名		〇〇株式会社		
所在地		〇〇市 町〇丁目〇番〇号		
証 明 者		職 名 代表取締役社長		
		氏 名 消防 太郎		
		電話番号 000 ( 000 ) 0000		

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

## 記入要領

	「氏名」欄は、証明を受ける者の氏名と生年月日を記入する。
	「取り扱った危険物」欄は、実務経験で取り扱った危険物の類及び品名を記入する。なお、危険物の類が複数ある場合は、主として取り扱った危険物の類を記入し、危険物の品名についても同様に扱うこととする。
	「取り扱った期間」欄は、実務経験の期間を記入する。括弧内には、合計の年月を記入する。
	「製造所等の区分」欄は、実務を行った危険物施設の区分を○等で囲む。なお、複数の製造所等の区分にまたがる場合は、主として実務した施設の区分を○等で囲む。
	証明年月日は、記載内容を証明する年月日を記入する。
	事業所名は、実務経験をした製造所等がある事業所の事業所名を記入する。
	所在地は、当該事業所の所在地を記入する。
	証明者は、事業所の長等、当該事業所における業務を統轄、管理する者とし、その者の職名及び氏名を記入する。 電話番号は、証明者本人又は当該事業所のものとする。